

磐城高校における読書活動推進

1 学校の概要

- ① 所在地 福島県いわき市平字高月7番地
- ② 学級数・生徒数 21学級・832名（令和4年4月8日現在）
- ③ 学校図書館の蔵書数 50,884冊（令和4年3月末現在）

2 読書活動推進の取組内容について

- ①生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組

*刊行物・広報

・図書館だより

月1回発行。内容は読書会などのイベントや図書館利用についてのお知らせ、新着図書の紹介など。裏面は1か月間に受入した本をすべて掲載した新着図書リスト。

・図書館報

年1回（2月）発行。先生方の寄稿、図書委員企画の特集記事、読書アンケートの結果、図書委員会活動報告、図書館利用状況などを掲載した冊子。

・ブックリストの提供

医療コース設立に合わせ、1年次に医療系の新書、読み物などを集めたブックリストを配布。各自のタブレットでデータを参照できるよう、ネット上にアップした。

ゴールデンウィーク期間には小説・小説外のおすすめ本のリストも作成、提供した。

*コーナー展示

・常設コーナー

「新着図書」、「小論文に強くなろう」、「進路・仕事の本」、「がんばれ磐高生！勉強法の本」、「古典に親しむ」

・テーマ展示コーナー

入口脇の棚や閲覧室中央のテーブルにて適宜テーマを変えて展示。

令和4年度のテーマは「SDGsって何？」「出版社がオススメする夏の文庫」「キーワードでつながる本展示」「貸出ゼロ本を救え」「年末ミステリランキング発表」、他季節や行事に合わせて、その都度行った。

*図書委員有志による書店での図書選定

「図書委員が選んだ本」として紹介。

*読書管理アプリ【ブックログ】の活用

読書管理アプリブックログで磐城高校図書館のページを開設。PC、スマホから閲覧可。今年度に入ってから購入した本を、【新着図書】【図書館分類】ごとにカテゴリ分け

し、登録している。参照→<https://booklog.jp/users/iwakihs-library>
毎月発行する図書だよりに該当ウェブページのQRコードを掲載。
また当図書館内の電子モニターでも閲覧できるようにしている。



*学校ホームページで図書館の情報発信

学校ホームページ内に図書館のページを開設し、長期休業中の開館日程や展示内容など、図書館外、学校関係者以外にもみられるようにした。

*調査相談・本のリクエストのGoogleフォームを開設

直接来館せずとも調べ物の依頼や本のリクエストができるように、Googleフォームを整備した。QRコードは各学年廊下に掲示し、総合探究の調べ物や進路の面接・小論文指導の際に参考にできるよう、教職員にも配布。

②学校における読書を通した読書週間の定着を図る取組

*新入生図書館オリエンテーションの実施

入学直後の時期に実施。図書館の利用方法を案内し、希望者には貸出も行った。

*「磐高図書館利用カード」の進呈

貸出冊数の合計が10冊以上になった生徒に対し、個人用の貸出カードを発行した。

*放送での呼びかけ

広報紙を配布する以外にも、各文学賞の受賞、おすすめ本について放送する。



③読書活動の質の向上へ向けた取組

*ビブリオバトル

「ビブリオバトル福島県大会地区予選会」への参加者選抜のため、校内予選を開催。運営・進行は図書委員が行った。

④その他、読書活動推進へ向けた取組

*教科との連携

・総合的な学習の時間 企業研究（1年次）

事前に研究開発部と相談し、いわき地区の企業見学に赴く事前課題に対応。

学校資料だけでは、不足する部分は公共図書館から資料を借り受けて提供した。

また、図書館所蔵の本を教室からも検索できるよう、蔵書検索機のネットワークを整備し、各人にQRコードを配布。

ネット上での統計・論文などの検索方法をレジユメにて配布するとともに、生徒がタブレットで閲覧することができるよう、蔵書検索機トップページに関連検索サイトのリンクを集約したページを作成し、各自が調査する際に利用できるようにした。

* 「図書委員のおすすめ本」「おすすめPOP」作成

図書委員におすすめの本の紹介文を書いてもらい、図書だよりに掲載。

本の紹介POPは図書館内にて展示を行い、市立図書館の展示に提供。

* 文化祭（高月祭）での図書委員会企画

毎回恒例となっている古本市を開催。古本の提供呼びかけから当日の店番まで、本を介して在校生や来校者と交流をおこなう。今年度の文化祭は来場者に一定の制限はあったものの、盛況に終わった。